

必修の基本的事項

大項目	中項目	小項目	
1 医の倫理、患者の権利 約4%	A 医の倫理	1 医師としての責務	
		2 社会的責任	
		3 法の遵守	
	B 患者の権利と義務	1 患者の権利と義務	
		2 自己決定権	
		3 インフォームドコンセント	
		4 セカンドオピニオン	
		5 情報開示	
		6 個人情報保護	
	C 患者医師関係	1 リスボン宣言	
		2 患者の意向の尊重<患者中心型医療>	
		3 患者・家族の医療への参加<相互参加型医療>	
4 社会生活機能を重視した医療			
2 社会と医療 約2%	A 医療制度、医療経済	1 医師法	
		2 医療法	
		3 医療保険制度	
		4 介護保険制度	
		5 国民医療費	
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題	1 疾病・障害の概念と構造	
		2 QOL<quality of life>	
		3 リハビリテーションの理念	
		4 ノーマライゼーション	
		5 バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
		6 患者・障害者の心理	
		7 患者・障害者の社会活動	
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携	1 保健・医療・福祉・介護の各職種と社会資源	
		2 地域保健活動の中での各職種の連携	
	D 先端医療技術の社会との調和	1 ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
		2 臨床研究に関する倫理指針	
		3 疫学研究に関する倫理指針	
		4 遺伝子治療臨床研究に関する指針	
		5 遺伝カウンセリング	
		6 臓器移植	
	E 臨床試験・治験と倫理性	1 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験	
		2 ヘルシンキ宣言	
		3 GCP<医薬品の臨床試験実施の基準>	
		4 治験審査委員会・倫理審査委員会<IRB>	
	3 診療情報と諸証明書 約2%	A 診療録、医療記録	1 診療録・医療記録の管理と保存<電子保存を含む>
			2 診療録の内容
			3 診療情報の開示
4 問題指向型医療記録<POMR>			
B 診療に関する諸記録		1 処方箋	
		2 手術記録	
		3 検査所見記録	
		4 入院診療計画書	
		5 画像記録	
		6 退院時要約	
C 診断書、検案書、証明書		1 診断書	
		2 出生証明書	

大項目	中項目	小項目	
		3 死産証書	
		4 死胎検案書	
		5 死亡診断書	
		6 死体検案書	
4 医療の質と安全の確保 約4%	A 医療の質の確保	1 病院機能評価、国際標準化機構<ISO>	
		2 臨床機能評価指標<クリニカルインディケータ>	
		3 患者満足度	
		4 説明同意書、患者説明文書	
		5 クリニカルパス	
		6 PDCA サイクル<デミングサイクル>	
	B 医療事故の防止	1 医療過誤と医療事故	
		2 医療事故の発生要因	
		3 医療安全管理<誤薬、誤認、出血、外傷、感染、電撃、転倒、被曝、褥瘡、自殺企図、無断離院>	
		4 インシデント<ヒヤリハット>、アクシデント	
		5 インシデントレポート、医療事故報告書	
		6 医薬品管理マニュアル<麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理>	
		7 医療廃棄物処理	
		8 医療安全支援センター	
	C 院内感染対策	1 院内感染対策委員会	
		2 院内感染サーベイランス	
		3 院内感染対策チーム<ICT>	
		4 標準予防策	
		5 感染経路別予防策	
		6 抗菌薬の適正使用	
		7 薬剤耐性菌	
		8 針刺し事故	
	D 医療裁判	1 医事紛争、賠償	
		2 医療訴訟<刑事裁判、民事裁判>	
	E 医薬品・医療機器の副作用・不具合	1 有害事象と副作用	
		2 副作用への対応<報告義務、治療、補償>	
	F 血液・血液製剤の安全性	1 使用記録保管義務	
	5 人体の構造と機能 約3%	A 胎児期、周産期	1 遺伝子、染色体
			2 妊娠
			3 胎児
			4 分娩
			5 産褥
B 新生児期		1 呼吸、循環、体温	
		2 授乳	
		3 代謝、栄養	
		4 免疫	
C 小児期		1 成長	
		2 栄養	
		3 運動、言語	
		4 人格・習慣の確立	
D 思春期、青年期		1 成長	
		2 生殖機能	
		3 学校生活	

大項目	中項目	小項目
	E 壮年期	4 人格形成、社会参加
		1 身体正常値
		2 育児
	F 更年期	3 職業活動、社会活動
		1 内分泌、閉経
	G 老年期	2 社会環境
		1 加齢による身体機能の変化、精神機能の変化
		2 日常生活動作<ADL>
6 医療面接 約6%	A 面接のマナー	1 身だしなみ
		2 挨拶、自己紹介
		3 丁寧語、敬語
		4 プライバシーの保護
		5 面接環境
	B 医療面接の意義	1 医療情報の収集
		2 患者医師関係の確立
		3 説明、告知
		4 教育、調整、動機付け
	C 話の進め方	1 傾聴の仕方
		2 非言語的コミュニケーション
		3 準言語的コミュニケーション
		4 開放型質問<open-ended question>
		5 閉鎖型質問<closed question>
		6 中立的質問法<neutral question>
		7 多項<多選択肢>質問<multiple choice question>
		8 焦点を絞った質問<focused question>
	D 面接者の態度	1 共感的態度
		2 理解的態度
		3 支持的態度
		4 問題解決への援助的態度
		5 評価的態度
		6 解釈的態度
		7 調査的態度
		8 逃避的態度
	E 感情面への対応	1 共感
		2 支持
		3 反映
		4 肯定
		5 尊重
		6 支援
		7 探索
	F 病歴	1 主訴
		2 現病歴
		3 既往歴
		4 家族歴
		5 患者背景<生活・社会歴>
		6 システムレビュー<review of systems>
		7 プロブレムリスト
	G 患者・家族の考え方 ・希望	1 解釈モデル
		2 患者・家族の価値観
		3 個別性の理解
H 治療への動機付け	1 患者の満足度	
	2 コンプライアンス、アドヒアランス	

大項目	中項目	小項目
		3 意識啓発とその継続
7 主要症候 約 15%	A 主要症候のとらえ方	1 肥満、やせ 2 体重減少・増加 3 脱水 4 浮腫 5 発熱 6 全身倦怠感 7 顔色不良、顔面蒼白 8 高血圧 9 チアノーゼ 10 黄疸 11 ショック 12 意識障害、失神 13 不穏 14 けいれん 15 視力障害、視野異常、複視 16 飛蚊症 17 結膜の発赤<出血、充血> 18 聴力障害<難聴> 19 めまい、耳鳴り 20 鼻出血 21 咽頭痛 22 咳、喀痰、血痰、喀血 23 構音障害、嚔声 24 嚥下困難<障害>、誤嚥 25 喘鳴 26 呼吸困難、息切れ 27 胸痛、胸部圧迫感 28 動悸、頻脈、徐脈、不整脈 29 腹痛 30 胸やけ 31 悪心、嘔吐 32 吐血、下血 33 便秘、下痢、(粘)血便 34 腹部膨隆・膨満 35 腹部腫瘤 36 乏尿、無尿 37 多尿、頻尿 38 尿閉、尿失禁、排尿困難 39 血尿、蛋白尿、膿尿 40 月経異常、無月経 41 性器出血 42 記憶障害、思考障害 43 幻覚、妄想 44 抑うつ、躁状態 45 不安、恐怖 46 食思<欲>不振 47 睡眠障害 48 頭痛、頭重感 49 運動麻痺、筋力低下、運動失調、不随意運動 50 歩行障害 51 感覚障害 52 腰背部痛、筋肉痛

大項目	中項目	小項目
		53 関節痛、関節腫脹、関節変形
		54 乳房のしこり・左右差、皮膚の陥凹
		55 リンパ節腫脹
		56 出血傾向
		57 癢痒、皮疹
	B 周産期の異常を示す症状	1 妊娠・分娩・産褥の異常
		2 胎児・新生児の異常
	C 小児特有の全身症状	1 哺乳力低下
		2 体重増加不良
		3 活動性低下
		4 啼泣異常
		5 運動発達の遅れ
		6 精神発達の遅れ
7 性発達の異常		
8 一般的な身体診察 約13%	A 診察のあり方	1 診察前後の手洗い
		2 診察室環境への配慮
		3 プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮
		4 自己紹介と患者の確認
		5 患者への説明
		6 患者への声かけと例示
	B 診察の基本手技	1 視診
		2 触診
		3 打診
		4 聴診
	C 診察時の患者の体位	1 立位
		2 坐位、半坐位
		3 臥位<仰臥位、腹臥位、側臥位>
		4 砕石位
	D 全身の診察	1 精神状態<知的機能、感情・気分状態、見当識、意識状態>
		2 体格の評価<身長、体重>
		3 バイタルサイン<体温、呼吸、脈拍、血圧>
		4 全身の外観<体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声>
		5 リンパ節の触診
	E 頭頸部の診察	1 頭部
		2 眼、検眼鏡<眼底鏡>検査
		3 耳、耳鏡検査、鼻
		4 口唇、歯、歯肉、舌、頬粘膜、口蓋、咽頭、扁桃
		5 耳下腺、顎下腺、甲状腺、頸静脈、頸動脈
		6 頭囲、大泉門
	F 胸部の診察	1 胸郭
		2 肺肝境界
		3 心尖拍動、心音、心雑音
		4 呼吸音
		5 乳房
	G 腹部の診察	1 形
		2 肝、脾、腎
		3 筋性防御、圧痛、反跳痛<Blumberg 徴候>
		4 腹水
		5 腸雑音、血管雑音
	H 肛門と直腸の診察	

大項目	中項目	小項目
	I 生殖器の診察	1 男性
		2 女性
		3 妊婦
	J 筋骨格系の診察	1 肢位
		2 脊柱
		3 関節、関節可動域
		4 徒手筋力テスト
	K 神経系の診察	1 脳神経
		2 髄膜刺激所見<項部硬直、Kernig 徴候>
		3 運動系
		4 深部(腱)反射、表在反射、病的反射
		5 表在感覚、深部感覚
		6 協調運動
7 原始反射、姿勢反射		
L 四肢の診察	1 浮腫	
	2 動脈、静脈	
9 検査の基本 約5%	A 意義と目標	1 病因論と症候論
		2 診断法
		3 治療効果判定
	B 種類と特性	1 臨床的役割からの分類<スクリーニング、日常検査、緊急検査、特殊検査>
		2 検査方法的分類<検体検査、生体機能検査、形態画像>
	C 検査の倫理と安全	1 患者・検体の確認
		2 検査の倫理規定
		3 説明、告知
	D 検体の採取	1 採血
		2 採尿、採便
		3 採痰
		4 穿刺
		5 生検
6 擦過、綿棒採取		
E 検体の保存	1 抗凝固薬、血清血漿分離	
	2 保存法	
	3 保存期間	
F 一般臨床検査	1 尿	
	2 糞便	
	3 赤沈	
	4 喀痰	
	5 穿刺液	
G 血液学検査	1 血球検査	
	2 凝固・線溶検査	
	3 血液型・輸血関連検査	
H 生化学検査	1 簡易検査法	
	2 血糖	
	3 蛋白(質)	
	4 酵素	
	5 含窒素成分	
	6 脂質	
	7 電解質	
I 免疫学検査	1 CRP	
	2 抗体	
J 微生物学検査	1 採取法	

大項目	中項目	小項目	
		2 染色法	
		3 培養検査	
		4 薬剤感受性試験	
	K 機能検査	1 電気生理検査<心電図、脳波、神経伝導速度、筋電図>	
		2 機能検査<呼吸、腎、消化>	
		3 代謝(能)	
	L 画像検査	1 エックス線画像<単純、造影、CT>	
		2 超音波画像	
		3 内視鏡画像	
		4 磁気共鳴画像<MRI>	
		5 核医学画像	
	M 病理検査	1 細胞診	
		2 組織診	
	N 結果の解釈	1 病歴との関連	
		2 症候との関連	
		3 パニック値	
	10 臨床判断の基本 約4%	A 根拠に基づいた医療 <EBM>	1 患者の問題の定式化
			2 情報収集法
3 批判的吟味			
4 患者への適用			
5 研究デザイン			
6 メタ分析<メタアナリシス>			
7 診療ガイドライン			
B 臨床疫学的指標		1 内的妥当性、外的妥当性	
		2 バイアス、交絡因子	
		3 アウトカム	
		4 信頼区間	
		5 NNT<Number needed to treat>	
		6 検査前確率<事前確率>	
		7 感度、特異度	
		8 検査後確率<事後確率>	
		9 尤度比	
		10 ROC 曲線	
C 誤差と精度		1 正確度	
		2 精密度、再現性	
D 基準値		1 基準範囲の概念	
		2 生理的変動	
		3 性差、年齢差	
		4 異常値と原因	
E 有効性と効率性		1 効率とリスク	
		2 費用対効果	
F 医療情報		1 一次情報、二次情報	
		2 検索方法	
11 初期救急 約9%	A 救急患者の診察	1 バイタルサインの把握	
		2 致命的な病態・疾患・外傷の鑑別	
		3 重要臓器機能の障害を招く病態・疾患	
		4 外傷患者初期診察	
		5 緊急治療の要否の判断	
		6 部位別治療優先順位の判断	
		7 来院時<院外>心肺停止<CPA>	
	B 基本的な救急処置	1 一次救命処置<BLS>	

大項目	中項目	小項目
		2 二次救命処置<ACLS>
		3 気道確保
		4 人工呼吸
		5 除細動
		6 静脈路確保
		7 酸素療法
		8 基本的救急薬品
		9 止血法
		10 輸液療法、輸血
		11 骨折の固定法
		C 症状・傷病別の初期対応
	2 失神、意識障害、麻痺	
	3 ショック	
	4 けいれん、けいれん重積状態	
	5 激しい頭痛	
	6 高熱、低体温	
	7 眼痛、眼の損傷	
	8 めまい	
	9 呼吸困難	
	10 喀血	
	11 激しい胸痛・背部痛	
	12 激しい腹痛・腰痛	
	13 嘔吐	
	14 急性消化管出血	
	15 下痢	
	16 誤飲、誤嚥	
	17 尿閉	
	18 激しい陰囊内容痛	
	19 血尿	
	20 激しい四肢の疼痛	
	21 創傷、熱傷	
	22 急性中毒	
	23 重症感染症	
	24 産科領域の救急<流・早産、正期産>	
	25 精神科領域の救急	
D 災害医療	1 大規模災害<地震、津波、事故>	
	2 トリアージ	
12 主要疾患・症候群 約10%	A 基本的疾患・症候群	1 正常妊娠、妊娠悪阻
		2 子宮外妊娠<異所性妊娠>
		3 認知症
		4 アルコール・薬物依存症
		5 うつ病、双極性障害<躁うつ病>
		6 統合失調症
		7 不安障害<パニック障害、社会不安障害>
		8 身体表現性障害<心気症、心身症>、ストレス関連障害[外傷後ストレス障害<PTSD>、急性ストレス障害]
		9 睡眠障害
		10 睡眠時無呼吸症候群
		11 湿疹・皮膚炎、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎
		12 蕁麻疹
		13 ウイルス性発疹症<麻疹、風疹、水痘、ヘルペス>

大項目	中項目	小項目
		ス>
		14 結膜炎、角膜炎
		15 白内障
		16 緑内障
		17 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化
		18 急性中耳炎
		19 良性発作性頭位眩暈症
		20 アレルギー性鼻炎
		21 急性・慢性副鼻腔炎
		22 上気道炎、扁桃炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
		23 気管支喘息<小児喘息を含む>
		24 肺炎、胸膜炎
		25 慢性閉塞性肺疾患<COPD>
		26 肺結核
		27 慢性呼吸不全
		28 肺癌
		29 自然気胸、緊張性気胸
		30 気道閉塞
		31 急性呼吸不全、急性呼吸促<窮>迫症候群<ARDS>
		32 肺循環障害<肺梗塞、肺塞栓症>
		33 肺水腫、うっ血性心不全
		34 過換気症候群
		35 不整脈
		36 先天性心疾患
		37 弁膜症<僧帽弁膜症、大動脈弁膜症>
		38 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症
		39 心筋症
		40 高血圧症
		41 動脈硬化症
		42 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂
		43 閉塞性動脈疾患
		44 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤
		45 胃食道逆流症[逆流性食道炎<GERD>]
		46 胃・食道静脈瘤
		47 食道癌
		48 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>
		49 胃癌
		50 急性胃腸炎
		51 便秘症
		52 乳児下痢症
		53 急性虫垂炎
		54 炎症性腸疾患<潰瘍性大腸炎、Crohn病>
		55 機能性消化管障害<機能性ディスペプシア、過敏性腸症候群>
		56 大腸癌
		57 痔瘻、痔核
		58 急性・慢性肝炎、脂肪肝
		59 肝硬変、肝不全、肝性脳症
		60 肝癌
		61 胆石症、胆嚢炎、胆管炎
		62 急性・慢性膵炎
		63 膵癌

大項目	中項目	小項目
		64 鼠径ヘルニア
		65 腸閉塞
		66 腸重積症
		67 汎発性腹膜炎
		68 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
		69 急性白血病
		70 出血傾向、播種性血管内凝固<DIC>
		71 悪性リンパ腫
		72 急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群
		73 急性腎盂腎炎、尿路感染症
		74 糖尿病性腎症
		75 急性・慢性腎不全
		76 腎癌、膀胱癌
		77 尿路結石
		78 前立腺肥大症、前立腺癌
		79 子宮内膜症、月経困難症
		80 卵巣癌
		81 子宮筋腫
		82 子宮頸癌、子宮体癌
		83 更年期障害
		84 緊張型頭痛、片頭痛
		85 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫
		86 脳梗塞
		87 脳卒中後遺症
		88 Parkinson 病
		89 髄膜炎、脳炎、脳症
		90 熱性けいれん
		91 てんかん
		92 脳性麻痺
		93 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症
		94 椎間板ヘルニア
		95 肩関節周囲炎
		96 変形性関節症
		97 関節リウマチ
		98 骨折
		99 頭部外傷、脊髄損傷
		100 甲状腺機能亢進症・低下症
		101 糖尿病、メタボリックシンドローム
		102 脂質異常症<高脂血症>
		103 高尿酸血症、痛風
		104 骨粗鬆症
		105 乳癌
		106 アナフィラキシー
		107 薬疹
		108 敗血症
		109 急性食中毒
		110 皮膚潰瘍、褥瘡
		111 熱中症、寒冷による障害
13 治療の基礎と基本手技 約8%	A 意義と目標	1 疾患の治療・自然治癒 2 キュアとケア
	B 種類と特性	1 原因治療、対症療法 2 保存療法、根治療法

大項目	中項目	小項目
		3 特殊療法
	C 治療計画	1 治療の適応・選択 2 治療計画書
	D 治療の場	1 外来 2 入院 3 在宅 4 地域 5 隔離
	E 生活指導	1 指導計画 2 生活習慣の改善 3 患者への指導 4 家族・介護者への指導 5 小児・妊産婦・高齢者への指導 6 安静 7 体位 8 環境
	F 日常生活動作<ADL>	1 運動機能 2 認知機能
	G 介護	1 介護の定義・種類 2 介護者の一般的注意 3 精神的ケア 4 日常生活動作<ADL、入浴、排泄、摂食> 5 住居
	H 在宅医療	1 在宅状況の把握 2 在宅療養の指導 3 訪問診療 4 訪問看護 5 在宅酸素療法 6 在宅人工呼吸 7 在宅中心静脈栄養法 8 在宅疼痛管理 9 在宅経管栄養法 10 持続的外来腹膜透析<CAPD> 11 在宅自己導尿法 12 在宅自己注射法
	I 機器・器材と安全な取扱法	1 処置用機械・器具 2 診療施設用機械・器具 3 運動療法用器具 4 生体機能補助・代行器 5 陰圧室 6 無菌室、バイオクリーン室
	J 消毒・滅菌	1 無菌・滅菌法、消毒法
	K 注射	1 皮内 2 皮下 3 筋肉 4 静脈 5 動脈
	L 静脈路確保	1 静脈穿刺 2 末梢静脈路 3 静脈切開 4 中心静脈路
	M 輸液、輸血	1 適応、禁忌 2 方法 3 1日必要水分量・エネルギー量

大項目	中項目	小項目
		4 副作用、合併症
	N 浸潤麻酔	1 適応、禁忌 2 方法
	O 穿刺、切開、ドレナージ	1 くも膜下腔 2 胸腔 3 心膜腔 4 腹腔 5 関節腔 6 膿瘍
	P 創傷・褥瘡の処置・治療	1 創傷治癒過程 2 創の洗浄、デブリドマン 3 創の消毒の必要性 4 止血 5 縫合
	Q 瘻孔・ストーマの管理	1 気管切開孔の管理 2 胃瘻<PEG>の管理 3 ストーマケア
	R 気道確保	1 適応と方法
	S 胃管挿入	
	T 浣腸	
	U 導尿	1 導尿カテーテル 2 膀胱穿刺
	V 薬物療法	1 適応、禁忌、慎重投与 2 薬物アレルギー 3 薬物依存 4 薬物耐性 5 薬物相互作用
14 死と終末期ケア 約2%	A 死	1 死の判定 2 脳死、脳死判定基準 3 異状死体、異状死胎 4 系統解剖、行政解剖、司法解剖
	B 緩和ケア	1 身体的苦痛の緩和・除去 2 精神的苦痛の緩和・除去 3 全人的苦痛<トータルペイン> 4 反応性抑うつ 5 リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション> 6 ホスピス、緩和ケア病棟<PCU> 7 WHO方式3段階除痛ラダー 8 オピオイド鎮痛薬の副作用対策 9 家族とチーム医療
	C 終末期ケア	1 終末期患者とのコミュニケーション 2 家族のケア 3 対症療法<水分・栄養管理> 4 植物状態 5 尊厳死、リビングウィル 6 DNR<do not resuscitate> 7 安楽死 8 延命治療の中止の決定 9 小児の特殊性
15 チーム医療 約2%	A 医療機関でのチームワーク	1 医師間 2 医師と看護師間

大項目	中項目	小項目	
	B 地域医療でのチームワーク	3 多職種間	
		1 病診連携・病病連携	
		2 保健・医療・福祉・介護・教育の連携	
		3 家族との連携	
	C チームワークの形成	4 地域連携クリティカルパス	
		1 リーダーシップ	
	D コンサルテーション	2 チームの調整技能	
		1 自己責任と自分の限界	
	E 社会生活	1 社会復帰	
		2 社会保障制度<所得、介護、障害>	
		3 人的支援	
		4 物的支援<福祉用具>	
		5 自立	
	16 生活習慣とリスク 約5%	A 基本概念	1 健康日本21
2 生活習慣病のリスク			
3 健康寿命の延伸とQOL<quality of life>の向上			
4 設定目標			
5 行動変容			
6 健康づくり支援のための環境整備			
B 栄養、食生活		1 食事摂取基準<栄養所要量>	
		2 栄養マネジメント<栄養管理>	
		3 食行動	
C 身体活動、運動		1 身体活動目標値	
		2 身体活動・運動の効用	
D 休養・心の健康		1 睡眠、不眠	
		2 ストレス対策	
		3 過労予防対策	
		4 自殺の予防	
E 喫煙		1 喫煙状況	
		2 喫煙の有害性	
		3 受動喫煙	
		4 禁煙支援	
F 飲酒		1 飲酒状況	
		2 飲酒の有害性	
		3 アルコール依存症への支援	
G 生涯設計		1 環境レベル	
		2 知識レベル	
		3 行動レベルと行動変容	
17 心理・社会的側面についての配慮 約4%		A 患者・障害者の心理・社会的側面	1 患者の心理・信念
			2 病気・障害に対する態度
			3 心理教育<psychoeducation>
	4 社会参加、社会復帰		
	B 家族機能	1 家族理解	
		2 家族機能の活用	
	C 行動変容	1 心理・行動の要因分析	
		2 意識変容	
	18 一般教養的事項 約2%	A 医学史	
		B 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに	

大項目	中項目	小項目
	関連する一般教養的知識や考え方	
	C 診療に必要な一般的な医学英語	

